

# 平成18年度 教育行政執行方針

自立と創造の心を持った人づくり  
を理念に教育行政をすすめます

## はじめに

今日の社会は、国際化、情報化、科学技術の進展、更には高齢化、少子化の進行など、これらの新しい課題に適切に対応していくことが求められています。

町民一人ひとりがよりよい生き方を求め、人間的な触れ合いが希薄化する中で、夢と希望をもって人を思いやる豊かな人間性やたくましく健やかな身体を育むことが大切であります。

そのためには、家庭、学校、地域社会がそれぞれの役割を十分果たしながら相互に連携し、教育・文化・スポーツ活動を推進するとともに、社会の変化に柔軟に対応できる豊かな心を育て、ゆとりと潤いのある生涯学習の充実を図る必要があります。



す。

東川町教育委員会といたしましては、社会の変化や教育の今日的課題を的確に把握し、「画」と受身から自立と創造へ」という理念を基本として、次の重点方針を掲げて、本年度の教育行政を推進してまいります。

### 重点方針

- 「豊かな心と生きがいを育む生涯学習社会の構築」
- 「地域に信頼され、活力のある学校づくりの推進」
- 「個性を育む、誇り高い文化の創造」
- 実践課題としては、
  1. 「町民の創意工夫を生かした生涯学習の推進」
  2. 「基礎・基本の徹底と確かな学力の定着」
  3. 「郷土を愛し、帰属意識の持てる子どもの育成」

以上3点を基調として教育行政に取り組んでまいります。

## 就学前教育・幼児教育・乳幼児保育の推進

急速な少子化や核家族化の進行、親の働く環境の変化、先行き不透明な社会経済状況など、養育環境は厳しい状況にあります。

近年、親の子育てに対する意識や価値観が多様化し、肉体的、精神的、経済的負担を重荷に感じる人も少なくなく、家庭における育児不安や孤独感などが悩みとなり、親だけで子育てをしていくことが難しい時代を迎えていることから、地域全体



でこれからの子育てを支えていくことが求められています。幼児期は、人と自然のふれあい、いろいろな体験と食生活

そのため、東川中学校に英語指導助手と英語教育指導員を配置し、英語教育の充実を図ります。

さらに、国際社会の一員としての自覚と自国の文化に誇りを持ち、基礎的な英語力を身につけると共に、町の国際交流事業と積極的に関わりながら、国際理解教育の推進に努めます。



### 食育と学校給食

食生活を取り巻く社会環境が大きく変化の中で、朝食をとらない子どもが増え、偏った栄養摂取や肥満症、生活習慣病など、食生活の乱れが健康に大きな影響を及ぼしております。学校給食においては、栄養バランスのとれた安全で美味しい給食の提供に努めることも、「日常生活で食の楽しさや望ましい食習慣を身につけるための食育指導をおこないます。

また、献立に新鮮な地場農産物を積極的に取り入れ、食物と地域農業に対する理解を深め

を通して基本的な生活習慣や道徳性を育み、心と体の発達的基础を形成する極めて大切な時期であります。このようなことから、幼児一人ひとりの特性や発達状況を踏まえながら、健康で明るく伸び伸びと行動する幼児の育成に努めます。

## 学校教育の推進

### 学校経営

学校経営につきましては、学校自ら創意工夫し、地域の要請に応える教育を推進することが求められています。

校長のリーダーシップのもと、教職員一人ひとりの学校経営への参画意識の高揚に努め、協働体制の確立を図り、学力の到達度目標の点検や学校評価の工夫に努めるとともに、開かれた学校づくりと活力ある学校経営を推進し、優れた教職員の育成と人材の確保に努めます。

### 学習指導

学習指導につきましては、個性を重視した教育を実践して、児童生徒が自ら考え、学ぶ楽しさを実感できる学習を推進することが求められています。個別指導の充実や総合的な学習時間の効果的な実践など、



学力につきましては、全児童生徒を対象に基礎・基本の到達度を調査するための標準学力検査を実施します。

近年、子どもの活字離れが指摘されていますので、国語の授業内容の工夫改善を図り、読書活動をおして読解力の向上に努めます。

### 特別支援教育

特別支援教育につきましては

根ざした学校づくりに対して支援します。

### 学との連携

「教育の町づくり」を進めるにあたり、幼・小・中学校、高校、養護学校、専門学校及び大学との連携を図ります。

## 社会教育の推進

### 生涯学習

社会のさまざまな分野における著しい進展は、地域の教育の在り方にも大きな影響を与えており、生涯学習の必要性が求められています。

また、町民がそれぞれのライフスタイルに応じて、生涯をおとして、積極的に学習し文化・スポーツなどに親しむとともに、時代に即した新たな知識や技能を習得することが大切であります。

このため、生涯学習の推進にあたっては、本町の恵まれた自然環境と文化的風土を生かして、体験学習を通して豊かな心を持ち、新しい時代を拓く創造性豊かな人材の育成と、ゆとりと潤いのある生涯学習社会の構築に努めます。

### 家庭教育

今日、核家族化や少子化傾向が顕著になる中で、家庭教育

は、中央教育審議会の「特別支援教育を推進するための制度の在り方について」の答申により、学校では障害のある児童生徒の一人ひとりの教育ニーズを把握して適切な教育的支援を行なうことが求められています。

このことから、平成19年度からの円滑な導入に向け、学校や関係機関団体と連携を図りながら東川町特別支援教育推進委員会の組織づくりに努めます。

### 道徳教育

道徳教育につきましては、子どもを取り巻く環境の急激な変化にともなつて、学校において日常生活との関連を重視した道徳教育の指導が求められています。

特に、今日的課題であります挨拶、マナー、しつけ、礼儀など、人間形成の基礎づくりを幼児期からの発達や学びの連続性の中で育ませることが大切です。

このことから、校内の連携を深めた指導体制の確立を図り、全教職員の共通理解に基づいた指導計画の充実を図るとともに、「心のノート」や地域人材の効果的な活用と家庭や地域社会と連携し、実践的な活動をおして、豊かな心を育てる道徳教育の充実を努めます。

### 生徒指導

生徒指導におきましては、生命を大切にし、他人を思いやる心や美しいものに感動する心、公正さを重んじる心などが求められております。また、日常の児童生徒の悩みや問題行動の早期発見と対応が大切であります。このことから、中学校に心の教室相談員を配置し、各小学校の児童を含めて、個々に応じた教育相談と指導の充実を図るとともに、家庭や地域社会と連携し、自主的、自律的な生活態度の育成に努めます。

### 安全対策

近年、学校の登下校中における児童生徒の痛ましい事故や事件が多発しており、大きな社会問題となっております。各学校で危機管理マニュアルや通学路の安全点検、緊急避難場所の設定などをおこないながら、児童生徒の交通安全・防犯・防災に関する安全教育に努めます。

また、不審者対策として、家庭、地域及び関係機関団体と一体となった地域ネットワークづくりに努めます。

### 国際理解教育

今日の国際化社会において、次代を担う児童生徒たちが国際的感覚と行動力を身につけることが大切であります。